

北見工業大学学報

第 306 号 (2021 年 7 月号)

目 次

入 試	令和 4 年度編入学試験(第 1 次募集)の実施……………	2
研 究 助 成	令和 3 年度外部資金の受入状況……………	3
人 事	人事異動……………	4
受 賞	本学大学院生が土木学会関西支部年次学術講演会で優秀発表賞を受賞……………	5
	社会環境系の川尻峻三准教授が北海道開発局長奨励賞を受賞……………	6
	応用化学系の小西正朗教授が日本生物工学会第 44 回 生物学奨励賞(照井賞)の受賞者に決定……………	7
	応用化学系の大野智也教授が粉体粉末冶金協会・第 45 回研究進歩賞を受賞……………	8
	本学大学院生が資源・素材学会北海道支部から若手優秀講演賞を受賞……………	9
	応用化学系の佐藤利次教授が令和 3 年度(第 43 回)森喜作賞を受賞……………	10
諸 報	インドネシアのボゴール農科大学と学術交流協定を締結……………	11
	オンライン父母懇談会(春季)を開催……………	12
	フードバンク in 北見工大を開催……………	13
	文献データベース Scopus 利用セミナー及び KIT-R 説明会を開催……………	14
	ガガーリン展を開催……………	15
日 誌	6 月・7 月……………	16

= 入試 =

令和4年度編入学試験（第1次募集）の実施

（入試課）

令和4年度編入学試験第1次募集（推薦入試、学力試験入試）を実施しました。両学科別の合格者数等は下表のとおりです。

なお、編入学試験第1次募集（社会人特別入試）については、志願者がいなかったため実施しませんでした。

学 科 名	推薦入試				学力試験入試			
	募集人員	志願者	受験者	合格者	募集人員	志願者	受験者	合格者
地球環境工学科	5	0	0	0	若干人	5	4	4
地域未来デザイン工学科	5	2	2	0		12	10	5
合 計	10	2	2	0		17	14	9

= 研究助成 =

令和3年度外部資金の受入状況

(研究協力課)

	令和3年7月31日 までの合計		前号までの合計		令和3年度累計	
	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)
共同研究	29	25,036	60	47,997	89	73,033
受託研究	4	19,771	8	55,284	12	75,055
奨学寄附金	25	16,959	6	7,700	31	24,659

= 人事 =

人 事 異 動

(総務課)

○大学発令

発令年月日	現 職 名	氏 名	新 職 名 (発令事項)
3.7.1	総務課高度専門職 (戦略広報担当) (副課長及び係長兼務)	斉藤 靖子	総務課高度専門職 (戦略広報担当) (副課長兼務)
〃	総務課主任	尾谷 綾子	総務課係長
〃	財務課主任	田中 大貴	学務課主任
〃	入試課事務職員	山上 雅之	財務課事務職員
〃	学務課事務職員	佐藤 響	研究協力課事務職員
〃	研究協力課事務職員	竹内 千枝美	入試課事務職員
3.8.1	工学部地域国際系教授	内島 典子	学長補佐 (広報戦略担当)
〃	総務課高度専門職 (戦略広報担当) (副課長兼務)	斉藤 靖子	総務課高度専門職 (広報戦略担当) (副課長兼務)

= 受賞 =

本学大学院生が土木学会関西支部年次学術講演会で 優秀発表賞を受賞

(社会環境系)

5月23日(日)にオンラインで開催された土木学会関西支部2021年度年次学術講演会にて、本学大学院生の幸谷宥毅さん(博士前期課程 工学専攻 社会環境工学プログラム1年、指導教員:富山和也准教授)が優秀発表賞を受賞しました。この賞は、研究内容や発表技術等の優れた30歳以下の会員に授与されるものです。

幸谷さんは、大林道路株式会社(本社:東京都千代田区)との共同研究成果として「歩行空間で運用可能なパーソナルモビリティを活用した三次元点群計測システムの開発」について発表しました。本研究は、歩行空間における路面評価を利用者の視点

から効率的に行うため、ハンドル型電動車いすと、レーザースキャナーや衛星測位システムといったICT技術を組み合わせた新たな計測システムの開発に取り組んだもので、論文および発表内容が高く評価され今回の受賞となりました。

近年、移動の円滑化やモビリティの多様化、防災上の観点から、誰もが安心して快適に利用できる歩行空間整備への需要が高まっています。産学連携による本研究成果は、このような社会的な要請に応え、より一層質の高い安全・安心・快適な道づくりに貢献するものと期待されます。

受賞論文:

幸谷宥毅(北見工業大学大学院)、富山和也(北見工業大学社会環境系)、山口雄希(大林道路株式会社本店技術部)、森石一志(大林道路株式会社大阪支店技術部)、板垣智哉(北見工業大学工学部卒業生):歩行空間で運用可能なパーソナルモビリティを活用した三次元点群計測システムの開発、土木学会関西支部2021年度年次学術講演会、V-23、2021年5月

大林道路株式会社: <https://www.obayashi-road.co.jp>

北見工業大学交通工学研究室: <https://sites.google.com/site/kittomiyama/>



受賞した幸谷さんと計測システム



オンライン発表の様子

社会環境系の川尻峻三准教授が北海道開発局長奨励賞を受賞

(研究協力課)

このたび、社会環境系・地域と歩む防災研究センター（以下、SAFER）の川尻峻三准教授が、第64回北海道開発技術研究発表会にて北海道開発局長奨励賞を受賞しました。寒地土木研究所、北海道開発局との共同受賞になります。

北海道開発技術研究発表会は、北海道開発事業に係る諸問題に関する調査、研究等の成果を発表することにより、技術等の向上とその普及を図ることを目的として、北海道開発局と寒地土木研究所が主催となり毎年開催されています。北海道開発局長奨励賞は、本発表会にて発表されるものの中から、研究の創造性、将来の発展性、成果の活用性・貢献性及びプレゼンテーションに関して審査を行い、特に優秀と認められる論文に対して贈られる賞の一つです。

川尻准教授の受賞論文は「現場での協働関係向上による補強土壁の品質確保ー「補強土壁チェックシート」を活用した品質管理法の運用へ向けてー」。この研究は寒地土木研究所とSAFERの共同研究として進めており、気候条件が厳しい積雪寒冷環境において補強土壁と呼ばれる地盤補強技術の品質を確保するための受発注者の体制づくりについて検討したものです。本研究の成果は令和3年北海道開発局道路設計要領に反映され、本年度から実用化されています。

今回共同受賞した寒地土木研究所の担当者は、本学博士後期課程（社会人）の修了生です。今後もSAFERでは、本学卒業生・修了生のネットワークを活かし、積雪寒冷環境における地盤防災・維持管理技術の研究・開発を進めて参ります。



表彰状

応用化学系の小西正朗教授が日本生物工学会第 44 回 生物学奨励賞（照井賞）の受賞者に決定

（応用化学系）

5月25日（火）に開催された日本生物工学会の理事会にて、応用化学系の小西正朗教授が第44回生物学奨励賞（照井賞）の受賞者に選出されました。受賞タイトルは「成分分析と機械学習を用いた微生物培地解析に関する研究」です。

生物学奨励賞（照井賞）は、生物化学工学の進歩に寄与した学会員に授与されるものです。小西教授らは微生物培養に用いられる培地に添加するエキス成分について注目し、網羅的な成分分析や機械学習を駆

使した解析手法の開発に取り組んでいます。当該研究が、日本生物工学会の英文誌や関連専門誌に掲載されるなど成果を挙げていることに加え、支部委員、英文誌編集委員等の学会活動への貢献も評価され、今回の受賞となりました。

10月27日（水）～29日（金）に開催される第73回日本生物工学会大会において授賞式と受賞講演が予定されている他、学会誌「生物工学会誌」にて受賞論文が発表される予定です。

【学会賞】

2021年度学会賞受賞者決定のお知らせ

https://www.sbj.or.jp/news/news_20210615.html

第73回日本生物工学会大会 ホームページ

<https://www.sbj.or.jp/2021/>

応用化学系の大野智也教授が粉体粉末冶金協会・ 第 45 回研究進歩賞を受賞

(応用化学系)

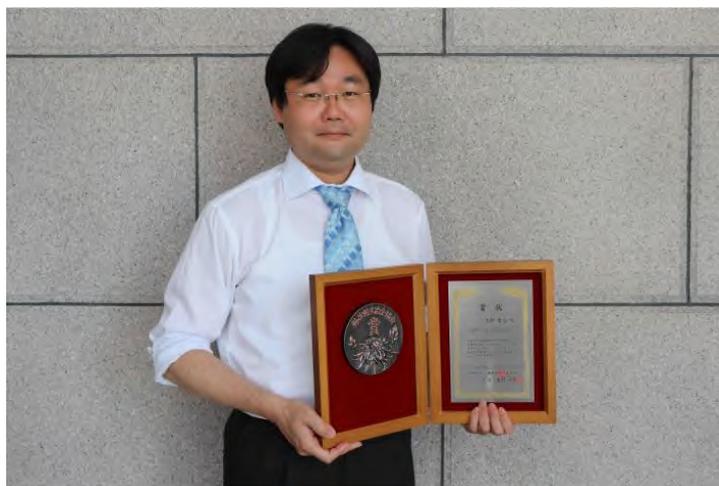
オンラインで開催された一般社団法人粉体粉末冶金協会 2021 年度春季大会において、6 月 3 日 (木) に応用化学系の大野智也教授が第 45 回研究進歩賞を受賞しました。この賞は、粉体および粉末冶金に関する優秀な基礎的研究で、独創的アイデアがある研究業績を上げた研究者に贈られる賞です。

受賞タイトルは「液相法によるナノ粒子表面へのセラミックスコーティング」。大野教授は、液相法によりナノ粒子表面に複合金属酸化物を含むセラミックス材料をコ

ーティングする技術と、そのコーティング層の微構造を前駆体溶液中の化学反応制御によりデザインする手法を開発しました。

加えて、セラミックスコーティングした粒子の触媒材料としての応用例についても報告し、ここで開発した手法により調製したコアシェル型ナノ粒子の実用材料としての可能性を示したことによる研究業績が認められての受賞となりました。

現在は、ここで開発した技術を応用し、全固体型リチウムイオン二次電池で使用する新材料の開発に取り組んでいます。



受賞した大野教授

本学大学院生が資源・素材学会北海道支部から 若手優秀講演賞を受賞

(社会環境系)

6月12日(土)にオンラインで開催された2021年度資源・素材学会北海道支部春季講演会において、本学大学院生の本田佳広さん(博士前期課程 社会環境工学専攻 2年、指導教員:中村大准教授)が、若手優秀講演賞を受賞しました。この賞は優秀な発表を行った30歳以下の会員に贈られるものです。

新型コロナウイルス感染症対策のため支部として初めてオンラインで開催された本講演会において、本田さんは「模型実験によるソーラーパネル架台の凍上被害発生メ

カニズムの解明」というタイトルで発表しました。

積雪寒冷地では地盤の凍結とともに構造物が持ち上げられる凍上被害が発生します。北海道東部の太陽光発電施設では、ソーラーパネル架台の支柱が大きくねじれる凍上被害が発生しました。本研究は室内模型実験と現地計測でソーラーパネル架台の凍上被害発生メカニズムを解明することに取り組んだもので、発表時のプレゼンテーションが高く評価されての受賞となりました。



受賞した本田さん



オンライン授賞式の様子

応用化学系の佐藤利次教授が令和3年度（第43回）森喜作賞を受賞

（応用化学系）

このたび、応用化学系の佐藤利次教授が令和3年度（第43回）森喜作賞を受賞しました。

この賞は、しいたけ等きのご類の普及・振興の功労者である故森喜作農学博士の遺志を継承し、広くしいたけ等きのご類の調査・研究及び普及等に顕著な功績のあった者等に対する顕彰を行い、きのご産業の発展に寄与することを目的としています。

佐藤教授は第一部門「しいたけ等きのご類の調査・研究及び普及」において、しい

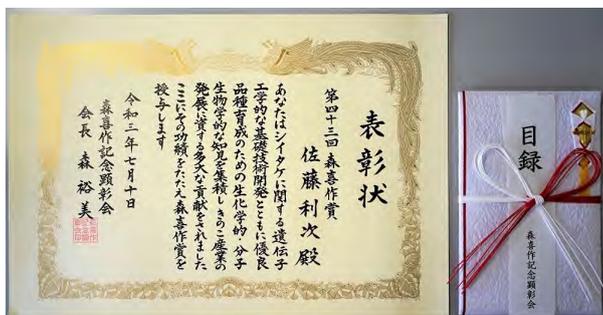
たけに関する遺伝子工学的な研究手法の開発や、実用化に向けた研究アプローチ、積極的な共同研究の推進や後進への指導等の功績が高く評価されての受賞となりました。佐藤教授が行ってきたこれまでの研究や大学教育を通じて得られた知識・技術をベースに、今後のさらなる研究の進展ときのご産業発展への貢献が期待されます。

なお、授賞式は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け1年延期して開催される予定です。



受賞した佐藤教授

（記念盾（左）と研究に使用するシイタケの菌床（右））



賞状・目録



記念盾

= 諸報 =

インドネシアのボゴール農科大学と学術交流協定を締結

(研究協力課)

5月28日(金)、本学はインドネシアのボゴール農科大学と学術交流協定を締結しました。インドネシアの大学と協定を結ぶのは初めてです。オンライン上で調印式に臨んだ鈴木聡一郎学長は「農業と工学の連携は今後のスマート農業を左右する。これまでの研究や教育で培ったノウハウをインドネシアで活用したい」と挨拶し、今後の交流に期待感を示しました。

ボゴール農科大学は、首都ジャカルタの南約150キロに位置するボゴール市に1996年に創設された国立大学です。国内トップクラスの農科大学として、これまでユドヨノ元大統領や歴代農相らを輩出しています。日本有数の農林水産業地域に位置する本学は、科学技術による第一次産業支援を本格化させていることから、今回の協定を通じて相互に技術や知見の交流を深め、両国の農業部門の発展に貢献したいと考えています。

調印式には、本学から鈴木学長のほか、渡邊康玄副学長、三枝広人副学長兼事務局長、ボゴール農科大学からは、アриф・サトリア学長、ドディック・リド・ヌロクマット副学長、イスカンダル・シレンガー国際計画局長、在京インドネシア大使館からはユスリ・ワルディアトノ教育文化担当官が出席しました。

両学長が枠組み合意書と学生交流覚書に署名した後、サトリア学長は「農業、生物学、持続可能な発展といった課題に協力して取り組みたい」と話し連携に意欲を示しました。また、調印式の冒頭、渡邊副学長は「オンラインでの交流も進め、両大学の関係を強化させていきたい」と呼びかけました。

今後は教職員や学生の交流を進める予定です。この日はさっそく学生同士の交流会がオンライン上で開かれ、参加者は互いの専門分野などについて意見を交わしました。



(左から) 三枝副学長、鈴木学長、渡邊副学長



サトリア学長



ワルディアトノ教育文化担当官

オンライン父母懇談会（春季）を開催

（学務課）

6月26日（土）、オンライン父母懇談会（春季）を開催しました。例年、大学祭にあわせて北見会場で開催していた父母懇談会（春季）ですが、昨年度にひきつづき今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため大学祭が中止となったことから、Web会議ツール（Webex）を用いての実施となりました。

当日は事前申し込みのあった保護者（72組）の面談が実施され、個別面談では修学状況や学生生活、就職等保護者からの質問に、個別担任が対応にあたりました。一部音声や画像の不具合もありましたが、大きなトラブル等もなく無事面談が終了しました。

参加した保護者からは「自身が遠方にいるため、オンラインで面談を実施いただいたことにより参加できて良かった」、「コロナが落ち着いたら、ぜひ来年は北見に行っ

て面談に参加したい」といった声が寄せられました。また、「コロナ禍で大学も大変だと思うが、対面での授業や課外活動の機会を増やしてほしい」といったご意見も多くいただきました。

教員からは「オンラインの実施により、今まで以上に懇談の機会を増やすことができるのではないか」、「保護者にとっても場所を気にせず実施できるメリットがあるため、対面での実施が再開されてもオンライン対応も継続する価値があると思う」といった声や、「大学へ来ていただく機会となるため、次年度の状況次第だが春季は対面での実施をした方が良い」といった感想が寄せられました。

今回は11月に同じくオンラインでの実施を予定しています。多くの保護者の皆様のご参加をお待ちしております。

フードバンク in 北見工大を開催

(学務課)

6月26日(土)、本学学生を代表とするフードバンク実行委員会が「フードバンク in 北見工大」を開催しました。

本イベントは、新型コロナウイルス感染症の流行に伴いアルバイト収入が減少して生活が厳しくなっている学生に対し、少しでも生活の助けとなるよう、学生が主体となって企画・実施したものです。

今回のフードバンク開催にあたっては、本学と包括連携協定を締結しているオホーツク農業協同組合長会、北見管内漁業協同組合長会から多くの食品をご提供いただきました。

当日は事前に応募があった300人の学生を対象に、学年ごとに受取時間を区切るなど、感染症防止対策を講じた中での開催と

なりました。応募した学生からは「アルバイトが減って食費に回すお金にあまり余裕がなかったのでとても助かります」「生活が苦しくなっている時期にこのような支援をしていただくととてもありがたい」等のコメントが寄せられ、多くの支援に感謝しながら食品を受け取っていました。

協賛・協力いただいた、オホーツク農業協同組合長会、北見管内漁業協同組合長会、ほっかいどう若者応援プロジェクト、本学卒業生有志の皆様、後援いただいた本学学生後援会には、心より御礼申し上げます。

フードバンク実行委員会では、今後も、生活に苦しんでいる学生への支援を継続して行っていきます。



受付を行う学生



ご提供いただいた食品



フードバンク実行委員会代表
(左から) 豊島さん、佐藤さん



食品を受け取る学生

文献データベース Scopus 利用セミナー及び KIT-R 説明会を開催

(情報図書課)

7月8日(木)、文献データベース Scopus 利用セミナーを開催し、教職員・学生合せて36人が参加しました。

本セミナーは、エルゼビア社の講師・井上淳也氏と大学とを Zoom で繋いで行われ、世界最大級の抄録・引用文献データベースである Scopus を使用して、影響力のある文献や、研究のトレンドなどを調べる方法をレクチャーしていただきました。

なお、セミナーに先駆けて榮坂俊雄図書

館長からは、論文検索の重要性についてのお話がありました。

井上氏のセミナーに引き続き、大学機関リポジトリ KIT-R (キットアール) 説明会を開催し、栗田とも子目録管理担当係長から、本学の機関リポジトリ KIT-R の紹介と、研究成果を外部公開することによるメリットが説明され、参加者へ研究成果の提出を呼びかけました。



講演する榮坂館長



Scopus 利用セミナーの画面

ガガーリン展を開催

(国際交流センター)

旧ソ連の宇宙飛行士ユーリイ・ガガーリンが人類初の宇宙飛行に成功してから今年で60年になることを記念し、「ガガーリン展」を7月21日(水)～29日(木)に本学3号館1階で開催しました。

本学とロシア連邦文化科学協力庁が共催し、在日ロシア連邦大使館が後援のもと開催された本写真展では、初日の21日(水)にオンラインで開会式が開かれ、本学の渡邊康玄副学長のほか、在日ロシア連邦大使館のミハイル・ユリエビッチ・ガルージン大使、在札幌ロシア連邦総領事館のセルゲ

イ・マーリン総領事が歓迎の挨拶を行いました。その後、本学で宇宙研究を続ける澁谷隆俊助教や竹腰達哉助教、北見市在住のロシア人・井戸イリーナさんが記念講演を行い、学生は熱心に耳を傾けていました。

写真展では、ガガーリンの宇宙飛行までの歩みや、日本を含む外国訪問の様子などの写真が20枚のパネルに掲載され、連日、教職員や学生が足を止めて写真を見ていました。学生の1人は「宇宙旅行が大きな関心を集める今、宇宙飛行の歴史を学ぶことができ良かった」と話していました。



オンラインで挨拶を行うガルージン大使



写真展会場の様子

= 日誌 =

6 月

- 1日 教務委員会（書面審議）、編入学試験第1次募集（学力試験入試）願書受付（～7日）、入学者選抜委員会
- 2日 編入学試験第1次募集（推薦入試・社会人特別入試）合格発表
- 3日 経営改革推進会議、アドミッションセンター運営会議
- 7日 教授会（書面審議）、研究支援室会議（書面審議）、大学院博士前期課程一般入試（推薦入試併願）願書受付（～11日）
- 9日 合同理事長選考会議
- 11日 地域連携・国際交流委員会（書面審議）
- 14日 大学院入学試験願書受付（～24日）
- 17日 教育研究評議会、発明審査委員会
- 18日 経営協議会（Web会議）、学長選考会議（Web会議）、役員会
- 23日 役員会、編入学試験第1次募集（学力試験入試）
- 26日 学生委員会（書面審議）、父母懇談会（春季）（オンライン）、フードバンク in 北見工大
- 29日 アドミッションセンター運営会議、学術情報機構統括会議
- 30日 大学院博士前期課程一般入試（推薦入試）面接試験

7 月

- 1日 学術情報委員会
- 2日 教務委員会
- 6日 入学者選抜委員会
- 7日 役員会、大学院博士前期課程一般入試（推薦入試）選考結果通知、編入学試験第1次募集（学力試験入試）合格発表
- 8日 インターンシップガイダンス、文献データベースScopus利用セミナー及びKIT-R説明会
- 12日 高校教員向けオンライン進学相談会（～29日）
- 13日 学生委員会、コース配属に向けた進路選択ガイダンス
- 15日 発明審査委員会、地域連携・国際交流委員会、インターンシップ事前研修会
- 19日 研究支援室会議（書面審議）
- 21日 教育研究評議会
- 27日 役員会
- 28日 経営協議会（書面審議）
- 29日 役員会
- 31日 オープンキャンパス（1回目）